

令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	ごみ処理事業	会計名称	一般会計		担当課	環境保全課	
		予算科目	4 款 2 項 1 目	事業番号	2260	所属長名	小寺卓也
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	向井英樹	
法令根拠等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、伊予市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 循環型社会構築に向けた環境づくり					【終了】	令和 5 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	循環型社会の構築に向けた取組として、一般廃棄物の処分業務が大きなウエイトを占める。						
事業の対象	一般廃棄物及び市民			事業の目的	地球規模での保全を視野に資源の有効利用の徹底と日常生活におけるごみの発生抑制とリサイクルの徹底を目指す。		
事業の内容 (整備内容)	一般家庭から排出されるごみの収集・中間処理・最終処分等の委託、指定ごみ袋の供給、ごみ収集啓発資料の作成、不法投棄防止パトロール、粗大ごみ戸別収集受付事務			昨年度の課題に対する具体的な改善策	広報やHPを含め、様々な媒体を使い、広く市民へ啓発を行う。また、許可業者に対しても周知を図る。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3 年度予定	9月末の実績	3 年度実績
直接事業費	373,693	386,563	△ 23,500	0	0	352,685	家庭系ごみ搬入量	t	7709	7087	3891	7447
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他	47,059	47,725	0	0	0	49,235	資源化量	t	1143	1175	561	1096
一般財源	326,634	338,838	△ 23,500	0	0	303,450						
職員の人工(にんく)数	0.80	0.80				0.80	リサイクル率	%	14.8	16.6	14.4	14.7
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	379,943	392,836				358,958						
主な実施主体	委託事業者		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	5年間の合計		
					350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	1,750,000		
成果指標	指標	可燃ごみの収集量	単位	⇒	区分年度	前 年度	3 年度	4 年度	目標	5 年度		
			t		目標	5015	4992	4847				
	指標設定の考え方	ごみの分別の徹底・資源ごみのリサイクル化を推進することによって可燃ごみが減少するため。			実績	5315	5223					
	指標で表せない効果	清掃センターへ直接搬入されるごみについては、算入していない。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		ごみ処理の広域化を推進するために、様々な調査、検討及び調整を行う必要があり、通常業務に加え、質の高い業務が求められている。ごみ減量に関し、広報で特集ページを確保、また、年始に行う、許可業者説明会にてごみ減量についても周知を行う予定である。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。	5	合計点が	S	事業成果・工夫した点	数年前から認知されていた大規模な不法投棄事業に対し、愛媛県庁、地方局、愛媛県警と協力し、行為者の特定と現地指導を行った。その後も現場確認と行為者への指導を継続的に行うなどした結果、令和4年3月に、行為者自身による廃棄物の撤去が完了した。地権者のもとへ何回も足を運び説明を行うなど関係者や行為者との調整に苦労したが、大きな成果を得られるものとなった。このように解決する事例は少ないが、今後の参考となる結果となった。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	5	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	5	合計点が	A			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 施策推進への貢献は多大である。 施策推進に向け、効果を認めることができる。 施策推進につながっていない。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が	B				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	2	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。	4	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 一般家庭から排出される家庭ごみの処理は、市の重要な責務であり、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	5	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が	A				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 施策推進への貢献は多大である。 施策推進に向け、効果を認めることができる。 施策推進につながっていない。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が	A					
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
所属長の課題認識	ごみの減量化について、企業と連携した展示会を含め、地域の公民館と連携し環境教室を実施する予定であったが、コロナウイルス感染症の影響で実施には至らなかったが、今後においても、ごみの減量化は重要な課題であり、地域住民や事業者に対し地道な啓発活動を実施していく必要がある。										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
			【行政評価委員会委員選定事業】 ごみの減量対策を効果的に進めるためには、ごみの減量目標及びその達成方策を策定し、積極的な排出抑制、再生利用対策を講じていく必要がある。	
			<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違いなく住民にとっても必要な事業であり、苦勞がとても多い事業だということが伝わってきた。 ・広報誌やホームページ等を活用した発信も進めれば、市民がもっと気持ちよく自ら協力できる気運が高まるだろう。 ・不法投棄は市内全域にあり、担当課として適切に対応しないといけない。イタチごっこで、非常にしんどいだろう。 ・市民にごみに関する状況を知ってもらい、動いてもらわないとどうにもならない。引き続き頑張ってもらいたい。 ・小規模自治体のごみ処理施設を個別に保有しているのはいかにも効率が悪い。広域化は止む無しの状態なのだろう。 ・地方自治法第252条の2を根拠とする市町村間の広域連携協定も検討してはどうか。人的な交流も含めて、もう少し機能的に作用するように思う。もう少し違った枠組みや切り口から広域化を推進してもよいだろう。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄									
	<table border="1"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>さらに重点化する。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>現状のまま継続する。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>見直しの上、継続する。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。
<input checked="" type="checkbox"/>	さらに重点化する。										
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。										
<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。										
<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。										
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。										